

1. 件名: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの核燃料物質使用変更許可申請に係る面談

2. 日時: 令和3年8月2日(月) 17時00分～17時15分

3. 場所: 原子力規制庁10階南会議室※TV会議により実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ研究炉等審査部門

本多主任安全審査官、矢野安全審査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター 廃止措置・技術開発部 施設管理課長 他6名

5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」という。)から、令和3年1月15日付けをもって申請のあった、人形峠環境技術センターにおける核燃料物質使用変更許可申請書(以下「本申請」という。)について、以下の説明があった。

- 本申請では、開発試験棟において、設備・機器の解体撤去で発生した、金属、樹脂等から付着物をレーザーで剥離し、剥離した物の物性調査を行うため、レーザークリーニング装置等の使用設備を新たに導入するという内容としている。
- この導入に伴う、放射線業務従事者、管理区域境界に係る線量評価が不足していたため、再度評価を行うことに併せて、既許可の線量評価への影響を確認したため、補正の提出まで時間を要したものである。なお、補正申請は令和3年8月3日付けで提出する予定である。
- なお、本申請の許可取得後、この内容を反映した保安規定変更認可申請を行う予定である。

(2) 原子力規制庁からは、上記の説明について、了解した旨を伝えた。

6. 提出資料

なし